



SoftBank 202TH


取扱説明書



SoftBank 202TH

取扱説明書

202THをお買い上げいただき、ありがとうございます。
202THを使用することでiPhone 5を衛星電話として使用できます。
iPhone 5で携帯電話のネットワークに接続できない場合でも、電話
やメールを楽しむことができます。
本書には、202THのご使用に関する重要で役に立つ情報が記載さ
れています。202THをご使用になる前に、よくお読みください。



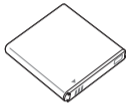
◆ お買い上げ品の確認



202TH本体



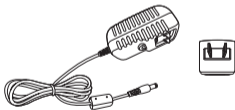
iPhone 5用クレードル (THKAB1)



電池パック (THBAB1)



USBデータケーブル (試供品)



トラベルチャージャー本体/
変換コネクタ (THCAB1)

取扱説明書

保証書 (本体、トラベルチャージャー)

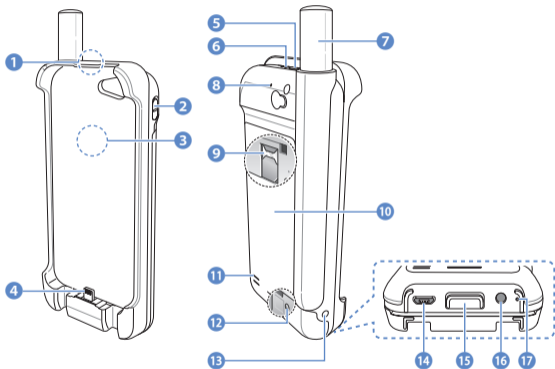
iPhone取り付けガイド

◆ 目次

お買い上げ品の確認.....	2	iPhone 5を使用しないで電話を使用する.....	34
目次.....	3	電話をかける.....	35
各部の名称.....	4	電話を受ける.....	35
安全上のご注意.....	5	SOSナンバーの設定.....	36
ご使用になる前に.....	16	衛星モードでSMSを使用する.....	36
使用環境について.....	16	SMSを送信する.....	36
SatSleeveアプリケーションのインストール.....	16	インターネットに接続する.....	38
SIMカードの取り付けかた.....	17	Wi-Fiルーター機能を使用する.....	38
電池パックの取り付けかた.....	17	202THとパソコンを接続してインターネットを利用する(GmPRS設定).....	39
iPhone 5を202THに取り付ける.....	18	連絡先の管理.....	41
iPhone 5を202THから取り外す.....	19	連絡先の作成.....	41
202THの電源を入れる.....	21	設定.....	41
202THとiPhone 5をペアリングする.....	22	一般.....	41
充電する.....	23	ネットワーク.....	41
202THとトラベルチャージャーを接続して充電する.....	23	セキュリティ.....	41
202THの電池を使用してiPhone 5を充電する.....	23	コードについて.....	42
LEDとビーブ音による状態確認.....	24	PIN1コードについて.....	42
SatSleeveアプリケーションを起動する.....	24	PINロックの設定.....	42
SatSleeveホーム画面の概要.....	25	PIN1コード変更.....	42
衛星電波の信号強度について.....	25	制限コードについて.....	42
HPA (高透過性アラート) モードについて.....	25	制限コード変更.....	42
ステータス表示について.....	26	トラブルシューティング.....	43
電話やSMSを使用する際のご注意.....	26	仕様.....	43
日本国内からの発信時のご注意.....	27	使用材料.....	44
衛星モードで電話を使用する.....	29	携帯電話機の比吸収率(SAR)について.....	45
通話時のご注意.....	29	「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」.....	46
電話をかける.....	29	RF Exposure Information/Specific Absorption Rate (SAR) Information.....	47
電話を受ける.....	31	European RF Exposure Information.....	48
消音とホールドについて.....	31	RoHS.....	48
緊急機関へのかけかた.....	31	お問い合わせ先.....	49
各種サービスのご利用について.....	32	故障受付窓口について.....	49

各部の名称

• 下記のイラストは202TH本体にiPhone 5用クレードルを取り付けた状態となります。



番号	各部の名称
①	レシーバー ^{※1}
②	iPhone 5充電スイッチ
③	SOS通話ボタン ^{※2}
④	iPhone 5接続端子
⑤	電源ボタン
⑥	電源LED/ネットワークLED
⑦	アンテナ
⑧	ハンズフリー通話用マイク
⑨	SIMカードホルダー
⑩	電池カバー
⑪	スピーカー
⑫	ペアリングボタン
⑬	充電端子
⑭	外部接続端子
⑮	クレードルロック
⑯	イヤホン端子
⑰	マイク

※1 通話するとき、通話音声はiPhone 5からではなく、202THより出力されます。202THのレシーバー部分に耳が当たるようにしてください。




※2 SOS通話ボタンは202TH本体にあります (P.34)。

◆ 安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになったあとは大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

表示の説明

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{*1} を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{*1} を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷 ^{*2} を負う可能性が想定される場合および物的損害 ^{*3} のみの発生が想定される」内容です。







※1 重傷とは失明、けが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをいう。

※2 軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などをいう。

※3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害を指す。

絵表示の説明

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

 禁止	禁止 (してはいけないこと)を示します。
 分解禁止	分解してはいけないことを示します。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示します。
 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示します。
 指示	指示 に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示します。
 電源プラグを放く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示します。

本機、電池パック、SIMカード、充電器の取り扱いについて(共通)

⚠危険



指示

本機に使用する電池パック・充電器は、ソフトバンクが指定したものを使用してください。

指定品以外のもので使用した場合は、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、充電器の発熱・発火・故障などの原因となります。



分解禁止

分解・改造・ハンダ付けなどお客様による修理をしないでください。

火災・けが・感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。本機の改造は電波法違反となり、罰則の対象となります。



水濡れ禁止

濡らさないでください。

水やペットの尿などの液体が入ったときに、濡れたまま放置したり、濡れた電池パックを充電すると、発熱・感電・火災・けが・故障などの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。



禁止

高温になる場所(火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で充電・使用・放置しないでください。また、暖かい場所や熱のこもりやすい場所(こたつや電気毛布の中、携帯カイロのそばのポケット内など)においても同様の危険がありますので、充電・放置・使用・携帯しないでください。

機器の変形・故障や電池パックの漏液・発熱・発火・破裂の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどなどの原因となることがあります。



禁止

本機に電池パックを取り付けたり、充電器を接続する際、うまく取り付けや接続ができないときは、無理に行わないでください。電池パックや端子の向きを確かめてから、取り付けや接続を行ってください。

電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

⚠警告



禁止

本機・電池パック・充電器を、加熱調理機器(電子レンジなど)・高圧容器(圧力釜など)の中に入れたり、電磁調理器(IH調理器)の上に置いたりしないでください。

電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、本機と充電器の発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。



指示

プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所(ガソリンスタンドなど)では、必ず事前に本機の電源をお切りください。また、充電もしないでください。

ガスに引火する恐れがあります。プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。



禁止

落としたり、投げたりして、強い衝撃を与えないでください。

電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や火災・感電・故障などの原因となります。



指示

使用中、充電中、保管時に、異音・発煙・異臭など、今までと異なることに気づいたときは、次の作業を行ってください。

1. コンセントから充電器を持ってプラグを抜いてください。
 2. 本機の電源を切ってください。
 3. やけどやけがに注意して、電池パックを取り外してください。
- 異常な状態のまま使用すると、火災や感電などの原因となります。



禁止

充電端子や外部接続端子に水やペットの尿などの液体や導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないようにしてください。また内部に入れないようにしてください。ショートによる火災や故障などの原因となります。



注意



禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落下して、けがや故障などの原因となります。パイプレーター設定中や充電中は、特にご注意ください。



指示

乳幼児の手の届かない場所やペットが触れない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。



指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱い方法を教えてください。

使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。けがなどの原因となります。

電池パックの取り扱いについて

電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類を確認した上で、ご利用・処分をしてください。



危険



禁止

火の中に投下しないでください。
電池パックを漏液・破裂・発火させるなどの原因となります。



禁止

釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えないでください。
電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。



禁止

電池パックの端子に、針金などの金属類を接触させないでください。また、導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）と一緒に電池パックを持ち運んだり保管したりしないでください。
電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。



指示

電池パック内部の液が眼の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗い流し、ただちに医師の診察を受けてください。
失明などの原因となります。

⚠ 警告



指示

電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、ただちに本機の使用をやめ、きれいな水で洗い流してください。

皮膚に傷害を起こすなどの原因となります。



指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。



指示

電池パックの使用・充電中・保管時に、異臭・発熱・変色・変形など、今までと異なることに気づいたときは、やけどやけがに注意して電池パックを取り外し、さらに火気から遠ざけてください。

異常な状態のまま使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。



指示

ペットが電池パックに噛みつかないようにご注意ください。また、ペットが噛みついた電池パックは使用しないでください。

電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や機器の故障・火災の原因となります。

⚠ 注意



禁止

不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。

端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りの「ソフトバンクショップ」へお持ちください。電池を分別している市町村では、その規則に従って処理してください。



指示

電池パックを保管する場合は、次の点にご注意ください。

- ・フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
 - ・電池残量がない状態（本体の電源が入らないほど消費している状態）での保管
- 電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。

本機の取り扱いについて

警告



禁止

自動車、バイク、自転車などの乗り物の運転中には使用しないでください。

交通事故の原因となります。乗り物を運転しながら携帯電話を使用することは、法律で禁止されており、罰則の対象となります。運転者が使用する場合は、駐停車が禁止されていない安全な場所に止めてからご使用ください。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの影響を与えます。

※ご注意ください電子機器の例

補聴器・植込み型心臓ペースメーカー・植込み型除細動器・その他の医用電気機器・火災報知器・自動ドア・その他の自動制御機器など



指示

本機の電波により運航の安全に支障をきたす恐れがあるため、航空機内では電源をお切りください。

機内で携帯電話が使用できる場合は、航空会社の指示に従い適切にご使用ください。



指示

心臓の弱い方は、着信時のバイブレーション（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に影響を与える恐れがあります。



指示

屋外で使用中に雷が鳴りだしたら、ただちに電源を切って屋内などの安全な場所へ移動してください。

落雷や感電の原因となります。

注意



禁止

車両電子機器に影響を与える場合は使用しないでください。

本機を自動車内で使用すると、車種によりまれに車両電子機器に影響を与え、安全走行を損なう恐れがあります。



指示

本機の使用により、皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめて医師の診察を受けてください。

本機では材料として金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じることがあります。



禁止

本機に磁気カードなどを近づけたり、挟んだりしないでください。

キャッシュカード・クレジットカード・テレホンカード・フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。



指示

本機を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。

長時間肌にふれたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。



禁止

着信音が鳴っているときや、本機でメロディを再生しているときなどは、スピーカーに耳を近づけないでください。

難聴になる可能性があります。



禁止

本機を破損した状態で使用しないでください。

けがなどの原因となります。



禁止

本機のアンテナに無理な力や強い衝撃を与えたりすると割れる恐れがあります。
万が一アンテナが欠けたり割れたりしたときは、使用を中止し破損部に触れないでください。
けがなどの原因となります。

充電器の取り扱いについて



警告



禁止

充電中は、布や布団でおおったり、包んだりしないでください。
熱がこもって火災や故障などの原因となります。



禁止

指定以外の電源・電圧で使用しないでください。
指定以外の電源・電圧で使用すると、火災や故障などの原因となります。



電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、充電器を持ってプラグをコンセントから抜いてください。
感電・火災・故障の原因となります。



電源プラグを抜く

万一、水やペットの尿などの液体が入った場合は、ただちに充電器を持ってコンセントからプラグを抜いてください。
感電・発煙・火災の原因となります。



指示

プラグにほこりがついたときは、充電器を持ってプラグをコンセントから抜き、乾いた布などで拭き取ってください。
火災の原因となります。



指示

充電器をコンセントに差し込むときは、充電器のプラグや端子に導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないように注意して、確実に差し込んでください。
感電・ショート・火災などの原因となります。



濡れ手禁止

濡れた手で充電器のプラグを抜き差ししないでください。
感電や故障などの原因となります。



禁止

雷が鳴り出したら、充電器には触れないでください。
感電などの原因となります。



注意



電源プラグを抜く

お手入れの際は、コンセントから、必ず充電器を持ってプラグを抜いてください。
感電などの原因となります。



指示

充電器をコンセントから抜くときは、コードを引っ張らず、充電器を持ってプラグを抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電や火災などの原因となります。



禁止

充電器をコンセントに接続しているときは、引っ掛けるなど強い衝撃を与えないでください。
けがや故障の原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

警告



指示

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカー等の装着部位から1m以上離して携行および使用してください。(出力は最大2Wです。)ただし、本機をご使用になる前に、まずはかかりつけの医師にご相談ください。

電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。



指示

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどに確認してください。電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。



指示

医療機関などでは、以下を守ってください。本機の電波により医用電気機器に影響を及ぼす恐れがあります。

- ・手術室・集中治療室(ICU)・冠状動脈疾患監視病室(CCU)には、本機を持ち込まないでください。
- ・病棟内では、本機の電源を切ってください。電源が自動的に入る設定(アラーム機能など)をしている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
- ・ロビーなど、携帯電話の使用を許可された場所であっても、近くに医用電気機器があるときは本機の電源を切ってください。
- ・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。



指示

満員電車などの混雑した場所にいるときは、本機の電源を切ってください。

付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方がいる可能性があります。電源が自動的に入る設定(アラーム機能など)をしている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

電波により、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

Bluetooth[®]機能について

■ 周波数帯について

本機のBluetooth[®]機能は、2.4GHz帯の2.402GHzから2.480GHzまでの周波数を使用します。

2.4 F H 1

2.4FH1

本機は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式等を採用し、与干渉距離は約10m以下です。



2.402GHz~2.480GHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

■ Bluetooth[®]についてのお願い

- 本機のBluetooth[®]機能は日本国内およびFCC規格に準拠し、認定を取得しています。一部の国/地域ではBluetooth[®]機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国/地域の法規制などの条件をご確認ください。
- Bluetooth[®]機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのため、Bluetooth[®]機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、Bluetooth[®]機器により、通信速度や通信距離は異なります。

■ Bluetooth®ご使用上の注意

本機のBluetooth®機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、ソフトバンクショップもしくはお問い合わせ先(P.49)までお問い合わせください。

! 注

- 本機はすべてのBluetooth®対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®対応機器との動作を保証するものではありません。
- 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®によるデータ通信を行う際はご注意ください。
- Bluetooth®通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

Wi-Fi(無線LAN)について

■ 周波数帯(2.4GHz帯)について

本機のWi-Fiは、2.4GHz帯の2.400GHzから2.497GHzまでの周波数を使用します。

2.4 DS/OF 4

2.4DS/OF4

本機は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS、OFDM変調方式を採用し、与干渉距離は約40m以下です。

2.400GHz~2.497GHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

■ Wi-Fiについてのお願い

- 本機の無線LAN機能は日本国内およびFCC/CE規格に準拠し、認定を取得しています。フランスなど一部の国/地域では無線LAN機能の使用が制限されます。海外でご利用になる場合はその国/地域の法規制などの条件をご確認ください。
- Wi-Fi機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのため、Wi-Fi機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、Wi-Fi機器により、通信速度や通信距離は異なります。

■ Wi-Fiご使用上の注意

本機のWi-Fiが使用する2.4GHz帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、ソフトバンクショップもしくはお問い合わせ先(P.49)までお問い合わせください。

① 注

- 本機はすべてのWi-Fi対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのWi-Fi対応機器との動作を保証するものではありません。
- 無線通信時のセキュリティとして、Wi-Fiの標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Wi-Fiによるデータ通信を行う際はご注意ください。
- Wi-Fi利用時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◆ ご使用になる前に

使用環境について

- 202THおよびSatSleeveアプリケーションは、iPhone 5に対応しております(2013年6月現在)。その他の機器への対応についてはソフトバンクモバイルホームページをご参照ください。
- iOSは6.1.4に対応しております(2013年6月現在)。以降リリースされるiOSのバージョンへの対応についてはソフトバンクモバイルホームページをご参照ください。

SatSleeveアプリケーションのインストール

iPhone 5で202THを使用するには、専用のアプリケーションであるThuraya SatSleeve App(無料)が必要です。Thuraya SatSleeve AppはApp Storeからダウンロードできます。App Store内でSatSleeveを検索し、アプリケーションをダウンロード、インストールしてください。



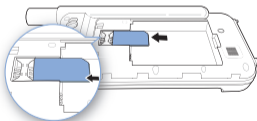
SIMカードの取り付けかた

衛星サービスを利用するには、SIMカードが必要です。202THをご使用になる前にSIMカードを取り付けてください。

- ① 202THの電源を切ります。
- ② 電池カバーを押しながら、矢印の方向にスライドさせて取り外します。



- ③ 電池パックを取り外します。
- ④ SIMカードを図のように挿入します。



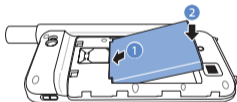
- ⑤ 電池パック、電池カバーを取り付けます。

電池パックの取り付けかた

- ① 202THの電源を切ります。
- ② 電池カバーを押しながら、矢印の方向にスライドさせて取り外します。



- ③ 電池パックと202TH本体の金属端子が合うように①の方向に差し込んでから、②の方向にはめ込みます。

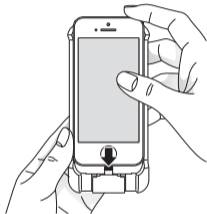


- ④ 電池カバーを取り付けます。

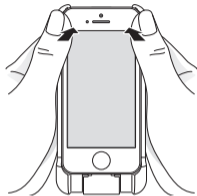
iPhone 5を202THに取り付ける

iPhone 5を202THに取り付けるには、iPhone 5用クレードルを使用します。

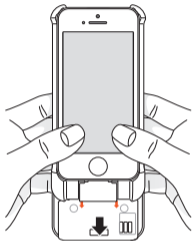
- ① iPhone 5をiPhone 5用クレードルのiPhone 5接続端子に合わせて差し込みます。



- ② iPhone 5の上部を押して、iPhone 5用クレードルにしっかりとめ込みます。

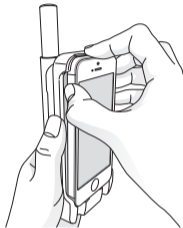


- ③ iPhone 5用クレードルを、図のように202TH本体のオレンジ色の線上に置きます。そのままiPhone 5用クレードルを下方方向にスライドさせて取り付けます。

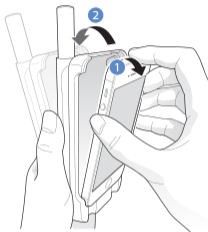


iPhone 5を202THから取り外す

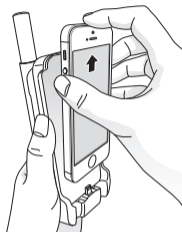
- ① 図のようにiPhone 5の上部に指をかけ、しっかりとiPhone 5を掴みます。



- ② iPhone 5を手前に引き(①)、202THを奥にそらして(②) iPhone 5を傾けます。
- 無理に力をかけすぎないようにご注意ください。
iPhone 5接続端子が破損する恐れがあります。



- ③ iPhone 5を上方向に取り外します。



202THの電源を入れる

電源を入れる

- ① 電源ボタンを長押し(約2秒間)します。
 - 電源/ネットワークLEDが青色で点滅し、ピープ音が鳴ります。



電源を切る

- ① 電源ボタンを長押し(約2秒間)します。
 - 電源/ネットワークLEDが赤色に点灯し、ピープ音が鳴ります。

◆ 202THとiPhone 5をペアリングする

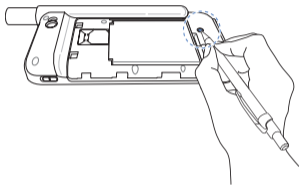
iPhone 5で衛星モードを使用するには、BluetoothでiPhone 5と202THをペアリングする必要があります。ペアリングは、次の手順で行います。

- 事前に202THの電源をオフにしてください。
- ① iPhone 5のホーム画面で「設定」→「Bluetooth」→「オフ」の順にタップします。
 - iPhone 5のBluetoothがオンになります。
 - ② 202THの電源を入れます。
 - ③ デバイスリストから「SATXXXXXX」をタップします。
 - 「XXXXXX」の部分は端末によって表示が異なります。
 - 自動的に202THとのペアリングが行われます。
 - PINロックを設定している場合は、PIN1コードを入力する必要があります。
 - ④ ペアリングが完了したら、iPhone 5の画面上部にBluetoothアイコンが表示されていることを確認します。



❗ 注

ペアリングがうまくできない場合は、ペン先やペーパークリップの端のような先のとがったもので、202THの背面にあるペアリングボタンを押します。

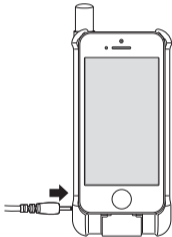


※ ペアリングボタンを使用するには、事前に電池カバーを取り外してください。

◆ 充電する

202THとトラベルチャージャーを接続して充電する

- ① トラベルチャージャー本体に変換コネクタを差し込みます。
- ② トラベルチャージャーのプラグを202THの左下側にある充電端子にしっかり接続します。



- ③ トラベルチャージャーのコネクタを、AC電源に接続します。
 - 充電中は電源LEDが赤色で点灯します。充電が完了すると電源LEDが青色で点灯します。

202THの電池を使用してiPhone 5を充電する

iPhone 5を202THに取り付けているときは、202THの電池を使用して、iPhone 5を充電することができます。

- ① iPhone 5充電スイッチを上側にスライドする。
 - 充電をやめるには、iPhone 5充電スイッチを下側にスライドします。



① 注

通話中にiPhone 5の充電はできません。

◆ LEDとビープ音による状態確認

202TH本体上部にあるLEDとビープ音により、電源のオン／オフやバッテリーの状態、ペアリングおよびネットワークの接続などの状態について確認することができます。

202THの状態によるLEDとビープ音・バイブレーションの動作

202THの 状態	LED点灯色／パターン		ビープ 音	バイ ブレーション
	電源LED	ネットワークLED		
電源オン	青色で2回点滅	青色で2回点滅	2回鳴動	-
電源オフ	赤色で6秒間点灯	赤色で6秒間点灯	3回鳴動	-
電池容量不足	赤色で10回点滅 (15秒間隔で繰り返し)	-	2回鳴動	-
充電中	赤色で点灯	-	-	-
充電完了	青色で点灯	-	-	-
ペアリング中	-	青色で点滅(5分間)	-	-
ネットワーク探索中 (信号感度:良)	-	青色でゆっくり点滅 (4秒間隔で繰り返し)	-	-
ネットワーク探索中 (信号感度:悪)	-	赤色で点滅 (2秒間隔で繰り返し)	-	-
ネットワーク 接続中	-	青色で点滅 (2秒間隔で繰り返し)	-	-
HPAモード中の 電話着信	-	赤色で点滅 (2秒間隔で繰り返し)	鳴動	振動
電話着信	-	-	-	振動
SMS受信	-	-	-	1回振動

◆ SatSleeveアプリケーションを起動する

202THと接続したiPhone 5で衛星モードを使用するには、SatSleeveアプリケーションを起動して操作を行います。

- 事前にSatSleeveアプリケーションをインストールし、202THとiPhone 5をBluetoothでペアリングする必要があります(P.16、P.22)。

- ① iPhone 5のホーム画面で「SatSleeve」をタップします。
 - SatSleeveホーム画面が表示されます。

SatSleeveホーム画面の概要

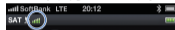


衛星電波の信号強度について

アンテナバーの本数で信号強度が確認できます。できるだけ、アンテナバーが5本表示される環境でご利用ください。

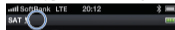
■ 受信強度が高い場合

アンテナバーが5本表示されます。




■ 受信強度が低い場合

アンテナバーは表示されません。



HPA (高透過性アラート) モードについて

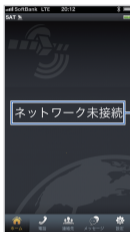
202THは電波の受信状況が良くない場合でも、HPAモードを利用して電話の着信をお知らせします。

- HPAモードでは通話することはできません。
- HPAモード中は、「

25

ステータス表示について

ネットワークの接続状況によりネットワークステータスが表示されます。



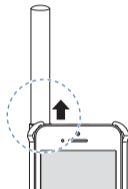
ステータス表示

ステータス表示	状態
ネットワーク検索中	衛星ネットワークを検索しています。そのままお待ちください。
ネットワーク未接続	衛星ネットワークに未接続です。
受信信号が弱いです。 202THを衛星の方角に向けてください	受信電波が弱い状態です。202THを衛星の方向(南西 [®])に向けてください。 ※日本国内での利用の場合
緊急通報のみ	通常の発信はできません。海外の一部の国で、その国の緊急機関へ発信できます。
Thuraya	衛星電話のご利用が可能な状態です。

電話やSMSを使用する際のご注意

202THとThuraya(スラヤ)衛星との通信品質を保つため、以下の点にご注意ください。

- 202THの使用時には、アンテナを完全に伸ばした状態でご使用ください。



- まわりに高層ビルなどの建物、背の高い木や山などの障害物がない、広い場所をご利用ください。まわりに木や建物が多い場所では、移動しながら通話することにより、通話品質が低下（途切れ、雑音等の発生）する恐れがあります。移動しながらの通話はできるだけお控えください。
- 202THが衛星ネットワークに接続するには、GPSの位置データを受信する必要があります。初めての場所で使用する場合、位置データの受信に数分間かかることがあります。

※ 接続に10分以上かかる場合は、一旦電源をOFF/ONし、改めて衛星との接続を行ってください。

日本国内からの発信時のご注意

日本国内で使用する際には、以下の点にご注意ください。

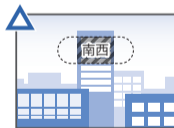
- 南西方向の空が見渡せる、障害物がない場所をご利用ください。南西方向に障害物がある場合は、電波が不安定な状態になることがあります。



南西方向が開けている



建物等の障害物がある

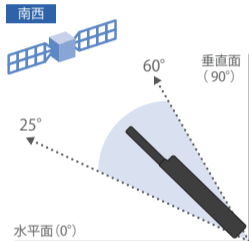


高い建物が一部ある

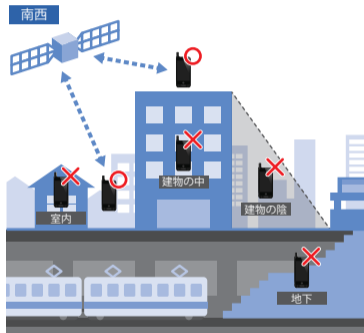


建物と建物の間に隙間がある

- アンテナを衛星方向に向けることで電波を補足します。アンテナが伸びている状態で、アンテナの角度を南西の方角の25°~60°に傾けてご利用ください。ご使用になる場所や周りの環境により、違いがありますので方向、角度を調整してご利用ください。



- アンテナを衛星方向に向けている場合でも、障害物がある場合は電波を受信することができません。そのため、建物の陰や室内、地下などではご利用いただけません。



◆ 衛星モードで電話を使用する

通話時のご注意

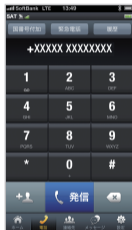
202THで通話をする際は、以下の点にご注意ください。

- 通話音声はiPhone 5からではなく、202THのレーザーから出力されます。レーザー部分が耳に当たるようにして、通話をしてください。



電話をかける

- ① SatSleeveホーム画面で「電話」をタップし、電話番号を入力します。
 - 連絡先や通話履歴から電話番号を選択することもできます。
 - 202THは衛星電話のため、発信元や相手先の場所により、発信方法(電話番号)を変更する必要があります。



■ 202THからソフトバンク衛星電話に電話をかける場合

- 「XXXX-XXXX」(「88216」を除く8桁)に発信します。
- 上記でつながらない場合は、「+^{*}1(または00)-88216-XXXX-XXXX」で発信してください。

■ 202THから携帯電話・固定電話(日本の事業者)に電話をかける場合

通常の電話番号(「090/080-XXXX-XXXX」、「市外番-XXXX-XXXX」)で発信できます。

- ・上記でつながらない、もしくは発信元が海外にいる場合は「+^{*1}(または00)-国番号^{*2}-相手先電話番号^{*3}」で発信してください。

■ 202THから携帯電話・固定電話(海外の事業者)に電話をかける場合

「+^{*1}(または00)-国番号^{*2}-相手先電話番号^{*3}」

- ※1: 「+」は「0」キーを長押しして入力します。
- ※2: 国番号は国ごとに異なります(日本の場合は「81」)。
- ※3: 相手先の電話番号が「0」ではじまる場合には「0」を除いてください。

- ③ 「発信」をタップします。
 - ・相手に電話がかかります。
- ④ 通話が終了したら「終了」をタップします。

! 注

- ・国際電話をかける場合、国番号を選択して入力する機能(国際通話アシスト)を利用することができます。
 - ダイアル画面: 「国番号付加」をタップ→国番号をタップ
 - 通話履歴画面: 電話をかけたい連絡先の右にある矢印(「>」)をタップ→「国番号を付加して発信」をタップ→国番号をタップ
 - 連絡先: 電話をかけたい連絡先をタップ→「国番号を付加して発信」をタップ→国番号をタップ

- ・通話中にSatSleeveアプリケーションが終了したり、Bluetooth接続が切断されると、通話が終了しますのでご注意ください。
- ・データ通信中(Wi-Fi ON時)は着信ができません。

202THへ電話をかける

202THは衛星電話のため、通常の携帯電話や固定電話からの発信先(電話番号)と異なります。

- ・電話番号の入力や電話の発信手順については、ご使用の携帯電話または固定電話の取扱説明書などをご参照ください。

■ 携帯電話・固定電話(日本の事業者)からソフトバンク衛星電話に電話をかける場合

「+(または010)-88216-XXXX-XXXX」に発信します。

- ・固定電話の場合「+」が入力できないため、「010」のみ利用できます。

■ 携帯電話・固定電話(海外の事業者)からソフトバンク衛星電話に電話をかける場合

「+(または国際電話アクセス番号)-88216-XXXX-XXXX」に発信します。

- ・国際電話アクセス番号は発信者のいる国ごとに異なります(日本の場合は「010」)。

電話を受ける

着信があるとiPhone 5から着信音が鳴り、202THが振動します。

- ① 「応答」をタップします。
 - ・ 通話が始まります。
- ② 通話が終了したら「終了」をタップします。

！ 注

- ・ SatSleeveアプリケーションを起動していない(バックグラウンドでも動作していない)場合や、Bluetoothでのペアリングが解除されている場合は、iPhone 5から着信音は鳴りません。また、iPhone 5で衛星電話を受けることもできません。SOSボタンを押して電話を受けてください。
- ・ 通話中にSatSleeveアプリケーションが終了したり、Bluetooth接続が切断されると、通話が終了しますのでご注意ください。

消音とホールドについて

通話中に、通話音声が届かなくなるように設定します。

- ① 通話中画面で「消音」/「ホールド」をタップします。
 - ・ 「消音」をタップすると、自分側の音声相手に届かなくなります。相手側の音声は聞こえます。
 - ・ 「ホールド」をタップすると、自分側の音声相手に届かなくなり、また相手側の音声も聞こえなくなります。

緊急機関へのかけかた

日本国内の警察、消防・救急、海上保安庁へ電話をかけることができます。

- ① SatSleeveホーム画面で「電話」をタップします。
- ② 「緊急電話」をタップします。
- ③ 「警察」/「消防・救急」/「海上保安庁」をタップします。
 - ・ 「警察」をタップした場合は、続けて現在位置(地域、都道府県)を選択します。
 - ・ 消防・救急への発信は、東京都のみご利用可能です。



- ④ 表示内容を確認して、「OK」をタップします。
 - ・ 相手に電話がかかります。

- ⑤ 通話が終了したら「終了」をタップします。

！注

- 本サービスは短縮ダイヤルにより緊急機関に接続するサービスです。緊急機関へ優先的に接続するサービスではありません。
- 本サービスは日本の陸地および沿岸から200海里(排他的経済水域)内から発信できます。
- 緊急機関へ発信する場合は以下の点にご注意ください。
 - 衛星との通信を確保するため、南西向きに開けている場所から発信してください。
 - 発信する際は移動せず、衛星との通信を確保してください。
- 緊急機関へ発信する前に、ご自身の位置情報(下記のうちいずれか)を確認してから発信してください。
 - 現在位置の住所
 - 近くの目標となる建物
 - GPS機能等で計測した緯度経度情報
- 衛星電話の接続先限定機能がオンとなっている場合、リストに設定されている番号以外には発信できません。緊急機関へ発信する場合は本機能をオフにするか接続先限定機能のリストに発信先を追加してください。202THでは接続先限定機能の設定が出来ませんのでこの機能を設定した端末にて再度設定を行ってください。
- 料金未納の場合、本サービスを利用できない場合があります。

各種サービスのご利用について

202THでは、留守番電話サービス、転送電話サービス、発着信規制サービスを利用することができます。

留守番電話の番号を設定する

留守番電話として使用する電話番号を設定します。

- ① SatSleeveホーム画面で「設定」をタップします。

- ② 「電話」→「留守番電話」の順にタップします。

- ③ 「123」を入力後、「完了」をタップします。
- 「発信」をタップして、実際に入力した番号に電話をかけて確認することができます。

※ ソフトバンク衛星電話以外から留守番電話へ接続する場合は「88216100123」を入力してください。

留守番電話を利用する

圏外時や電話に出られないときに、伝言をお預かりします。預けられた伝言を聞いたり、削除できます。

- ① 電話をかける画面で、「1」キーをロングタッチします。
- 以降はガイダンスにしたがって操作を行ってください。

転送電話を利用する

圏外時や電話に出られないとき、あらかじめ指定した電話番号へ転送します。転送する条件も設定できます。

- ① SatSleeveホーム画面で「設定」をタップします。
- ② 「電話」→「転送電話」の順にタップします。
- ③ 「無条件転送」／「通話中転送」／「無応答転送(15秒後)」／「圏外時転送」をタップします。
 - すべての制限を解除するには「転送解除」をタップします。
- ④ 「有効」／「無効」をタップします。
 - 「設定状況」をタップすると、現在の設定が表示されます。

発着信規制を利用する

「発信制限」、「Thuraya衛星電話以外への発信制限」、「設定されたPLMN以外への発信制限」、「着信拒否」、「指定エリア以外での着信拒否」を制限することができます。

- ① SatSleeveホーム画面で「設定」をタップします。
- ② 「電話」→「通話制限」の順にタップします。
- ③ 「発信制限」／「Thuraya衛星電話以外への発信制限」／「設定されたPLMN以外への発信制限」／「着信拒否」／「指定エリア以外での着信拒否」をタップします。
 - すべての制限を解除するには「制限解除」をタップします。
- ④ 「有効」／「無効」をタップします。
 - 「設定状況」をタップすると、現在の設定が表示されます。
- ⑤ 制限コードを入力し、「OK」をタップします。

発着信制限時の動作について

発着信制限を有効にした場合の動作を説明します。

設定項目	動作
発信制限	すべての発信を制限します。
Thuraya衛星電話以外への発信制限	Thuraya衛星電話以外への発信を制限します。
設定されたPLMN以外への発信制限	PLMNとは地上波公共移動通信ネットワーク(Public Land Mobile Network)を指し、SIMカードに設定されています。設定されたPLMN以外への発信が制限されます。ソフトバンクにて購入した衛星SIMカードTHのPLMNには「Thuraya衛星ネットワーク」が設定されています。
着信拒否	すべての着信を拒否します。
指定エリア以外での着信拒否	指定のエリア以外での着信を拒否します。 ※ソフトバンク衛星携帯電話では、エリアを設定する機能を提供しておりません(2013年6月現在)。

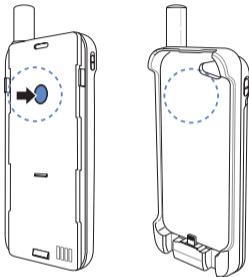
◆ iPhone 5を使用しないで電話を使用する

202THは、iPhone 5がない場合でも、SOSボタンを使用して、あらかじめ設定した電話番号に発信し、通話を行うことができます。

- SOSボタンに電話番号(SOSナンバー)を設定してからご利用ください(P.36)。

電話をかける

- ① SOSボタンを押します。



※SOSボタンは、202TH本体とiPhone 5用クレードルの間にあります。iPhone 5用クレードルを取り付けている場合は、使用できませんので取り外してご使用ください。

- ② 通話が終了したらSOSボタンを押します。

電話を受ける

着信があると202THが振動します。

- 202TH本体からは着信音は鳴りません。

- ① SOSボタンを押します。
 - 通話が開始されます。
- ② 通話が終了したらSOSボタンを押します。

！注

イヤホンマイクなどを接続している場合は、イヤホンマイクの受話ボタンを押してSOSナンバーへ発信をしたり、電話を受けたり、通話を終了することができます。

SOSナンバーの設定

SOSボタンを押した際に、発信する電話番号を設定します。

- ① SatSleeveホーム画面で「設定」→「電話」の順にタップします。
- ② 「SOSナンバー」をタップします。
- ③ 202THでSOSナンバーとして設定する電話番号を入力します。
 - ・「発信」をタップして、実際に入力した番号に電話をかけて確認することができます。
- ④ 「完了」をタップします。




！注

- ・ SOSナンバーが未設定の場合、日本国内では接続先が無いためご利用できません。海外においても国により対応が異なりますので、SOSナンバーを登録してご利用になることをおすすめします。
- ・ 日本国内での緊急機関へのかけかたは、「緊急機関へのかけかた」(P.31)をご参照ください。

◆ 衛星モードでSMSを使用する

SMSを送信する

- ① SatSleeveホーム画面で「メッセージ」をタップします。
- ②  をタップします。
- ③ 電話番号を入力するか、連絡先から電話番号を選択します。
 - ・ 202THは衛星電話のため、発信元や相手先の場所により、発信方法(電話番号)を変更する必要があります。



■ 202THからソフトバンク衛星電話にSMSを送る場合

「XXXX-XXXX」(「88216」を除く8桁)

- 上記で届かない場合は、「+^{※1}(または00)-88216-XXXX-XXXX」で発信してください。

■ 202TH(日本国内で送信)から携帯電話(日本の事業者)にSMSを送る場合

「090/080」-「XXXX-XXXX」

- 上記で届かない場合は、「+^{※1}(または00)-国番号^{※2}-相手先電話番号^{※3}」で発信してください。

■ 202TH(日本国内で送信)から携帯電話(海外の事業者)にSMSを送る場合

「+^{※1}(または00)-国番号^{※2}-相手先電話番号^{※3}」

■ 202TH(海外で送信)から携帯電話(日本および海外の事業者)にSMSを送る場合

「+^{※1}(または00)-国番号^{※2}-相手先電話番号^{※3}」

※1: 「+」は「0」キーを長押しして入力します。

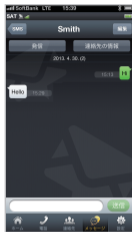
※2: 国番号は国ごとに異なります(日本の場合は「81」)。

※3: 相手先の電話番号が「0」ではじまる場合には「0」を除いてください。

④ メッセージを入力します。

⑤ 「送信」をタップします。

- 送信したメッセージが画面に表示されます。



！ 注

- 絵文字のご利用はできません。絵文字を受信した場合も正しく表示されません。
- SMSを利用するには、SMSサービスセンター番号が正しく設定されている必要があります。SMSサービスセンター番号はお買い上げ時に「+882161900000」が設定されていますので、基本的に変更せずにご利用ください。設定状況は以下の手順で確認できます。
SatSleeveホーム画面で「設定」→「メッセージ」→「SMSサービスセンター番号」

202THへSMSを送信する

202THは衛星電話のため、通常の携帯電話からの送信先(電話番号)と異なります。

- 電話番号の入力やSMSの送信手順については、ご使用の携帯電話の取扱説明書などをご参照ください。

■ 携帯電話(日本および海外の事業者)からソフトバンク衛星電話にSMSを送る場合

「+88216-XXXX-XXXX」

- SMSは電話と異なり「国際電話アクセス番号」での送信は利用できません。

◆ インターネットに接続する

Wi-Fiルーター機能を使用する

202THとパソコンや携帯端末をWi-Fiで接続して、データ通信を行うことができます。

- ① SatSleeveホーム画面で「設定」をタップします。
- ② 「Wi-Fiルーター機能」をタップします。
- ③ Wi-Fiネットワーク名/パスワード/セキュリティを設定します。
- ④ 「Wi-Fiルーター機能」の「オフ」をタップして、「オン」に切り替えます。
- ⑤ 「OK」をタップします。



- ⑥ iPhone 5やその他の携帯端末でWi-Fiの設定を行い、202THとWi-Fiで接続します。
- iPhone 5やその他の携帯端末でのWi-Fi設定方法は、ご使用の機器に付属の取扱説明書などをご参照ください。

① 注

Wi-Fiルーター機能を使用してインターネットに接続している場合、ウェブの閲覧やメールなどを利用していない時も、iPhoneやその他携帯端末からの自動通信によるデータ通信が発生する場合があります。ご利用料金が高額となる場合がありますのでご注意ください。

202THとパソコンを接続してインターネットを利用する (GmPRS設定)

パソコンと202THをUSBデータケーブルで接続して、データ通信を行うことができます。

202THを利用してパソコンでインターネットを使用するには、202TH専用のユーティリティツールをパソコンにインストールする必要があります。以下の手順に従ってセットアップしてください。

対象OS: Windows Vista / Windows 7 / Windows 8

■ ユーティリティツールをダウンロードしてパソコンにインストールする

- ① パソコンから、202THサポートサイト (http://www.softbank.jp/mobile/product/satellite_phone/202th/support/) に接続し、案内に従って202TH用のユーティリティツールをダウンロードします。
- ② ダウンロードしたユーティリティツールをパソコンにインストールします。
- ③ 202THをUSBデータケーブルでパソコンに接続します。
- ④ パソコンが202THを自動的に認識します。

■ 202THをモデムとして設定する

- ご使用のパソコンのOSや設定により、一部手順や表示が異なる場合があります。

<例:Windows 7の場合>

- ① パソコンで「スタート」→「コントロールパネル」→「ハードウェアとサウンド」→「デバイスマネージャー」の順に選択します。
- ② 接続された202THのポート番号を確認します。(例:COM40)
- ③ パソコンで「スタート」→「コントロールパネル」→「プリンタとその他のハードウェア」→「電話とモデムのオプション」→「モデム」→「追加(D)」の順に選択します。
※ 所在地情報を設定していない場合には、先に所在地情報を登録します。
- ④ 「モデムを一覧から選択するので検出しない(D)」を選択後、「次へ」をクリックします。
- ⑤ 「標準56000bpsモデム」を選択後、「次へ」をクリックします。
- ⑥ デバイスマネージャーで確認したポート番号(例:COM40)を選択後、「次へ」をクリックします。
- ⑦ 「完了」をクリックします。

■ ダイヤルアップの設定をする

- ご使用のパソコンのOSや設定により、一部手順や表示が異なる場合があります。

<例:Windows 7の場合>

- ① パソコンで「スタート」→「コントロールパネル」→「インターネットへの接続」を選択します。
- ② 「ダイヤルアップ」を選択します。
- ③ 「ダイヤルアップの電話番号」のボックスに「*99#」を入力します。「ユーザー名」/「パスワード」は入力する必要はありません。
- ④ 「接続名」に接続名を入力後、「接続」をクリックします。
- ⑤ 設定されたダイヤルアップ接続を利用して、インターネットに接続します。

GmPRSのアクセスポイント名を変更する

- ① SatSleeveホーム画面で「設定」をタップします。
- ② 「GmPRS」をタップします。
- ③ アクセスポイント名を入力します。
- ④ 「完了」をタップします。

◆ 連絡先の管理

SatSleeveアプリケーションの連絡先はiPhone 5の連絡先を参照しています。SatSleeveアプリケーションで新規の連絡先を登録すると、iPhone 5の連絡先に保存されます。

連絡先の作成

- ① SatSleeveホーム画面で「連絡先」をタップします。
- ② 「+」をタップします。
- ③ 関連情報を入力して「完了」をタップします。



◆ 設定

一般

202THのWi-Fiルーター機能、電話、メッセージ、Bluetooth、音の各設定を行います。

ネットワーク

利用するネットワークとネットワークの優先順位を設定します。

セキュリティ

PINロックの設定やPIN1コード・制限コードの変更、接続先限定の設定をすることができます。デバイス情報を表示してソフトウェア、アプリケーション、ファームウェアなどのバージョンを確認したり、すべての設定をリセットすることもできます。

！ 注

「すべての設定をリセット」で設定をリセットした場合、以下の手順で再度ペアリングする必要があります。

- ① iPhone 5のホーム画面で「設定」→「Bluetooth」の順にタップします。
- ② デバイスリストから「SATXXXXXXX」の「>」をタップします。
 - ・「XXXXXXX」の部分は端末によって表示が異なります。

- ③ 「このデバイスの登録を解除」→「デバイスの登録を解除」の順にタップします。
- ④ デバイスリストから「SATXXXXXXXX」をタップします。
 - ・ペアリングの方法は「202THとiPhone 5をペアリングする」(P.22)をご参照ください。

◆ コードについて

PIN1コードについて

PIN1コードは第三者による202THの無断使用を防ぐために使用するコードです。4桁から8桁の数字で構成されます。

- ・PIN1コードの入力を3回連続で間違った場合、PUK1コードを入力して新しいPIN1コードを設定する必要があります。PUK1コードはお買い上げ時にソフトバンクより提供されます。

PINロックの設定

- ① SatSleeveホーム画面で「設定」をタップします。
- ② 「PINロック」をタップします。
- ③ 「オン」/「オフ」をタップして、PIN1コードを入力します。

PIN1コード変更

- ① SatSleeveホーム画面で「設定」をタップします。

- ② 「コード変更」をタップします。
- ③ 「PIN1変更」をタップします。
 - ・PINロックがオンの場合に変更できます。
- ④ 現在のPIN1コードを入力後、新しいPIN1コードを入力します。
- ⑤ 「OK」をタップします。

制限コードについて

制限コードは通話制限機能で利用するコードです。お買い上げ時の番号は、ソフトバンクより提供されますが、お客様自身で変更することができます。お買い上げ時は、制限コードは「0000」が設定されています。制限コードの入力を3回連続で間違った場合、本機はロックされます。

制限コード変更

- ① SatSleeveホーム画面で「設定」をタップします。
- ② 「コード変更」をタップします。
- ③ 「制限コード」をタップします。
- ④ 現在の制限コードを入力後、新しい制限コードを入力します。
- ⑤ 「OK」をタップします。

注

PUK1コードや制限コードは、メモをとるなどして紛失しないようご注意ください。紛失してしまった場合や、本機がロックされた場合は、お問い合わせ先(P.49)までお問い合わせください。

トラブルシューティング

問題	解決方法
Bluetoothのペアリングがうまくいかない	ペアリングボタンは押しましたか。23ページを参照してください。
電話の発着信ができない	アンテナを最大限まで伸ばしていますか。ネットワークの電波強度が十分か、確認しましたか。25ページおよび26ページを参照してください。
着信音が鳴らない	SatSleeveアプリケーションを実行しましたか。SatSleeveアプリケーションが起動していない場合、着信音は鳴りません。
充電されない	iPhone 5充電スイッチの状態を確認してください。202TH本体を充電する場合は、スイッチをオフ(下側)にしてください。iPhone 5を充電する場合は、スイッチをオン(上側)にしてください。
緊急電話番号しか表示されない	SIMカードの接点が汚れていたり破損していたりしていないか、確認しましたか。SIMカードが挿入されているか、確認しましたか。
ネットワークが見つからない	高層ビルや背の高い木々、山などの障害物がない場所にいるかを確認してください。26ページを参照してください。

問題	解決方法
iPhone 5充電スイッチがオン(上側)になっているのに、iPhone 5を充電できない	202THが十分に充電されていないと、iPhone 5を充電できません。202THを使用してiPhone 5を充電する場合は、202THが十分に充電されているか、トラベルチャージャーに接続されている必要があります。
画面にThuraya Pacific OCと表示され、発着信をすることができない	202THがGPS情報の取得に失敗しています。202THの電源を切り、高層ビルや背の高い木々、山などの障害物がない場所に移動して、再度電源を入れてください。26ページを参照してください。 ※日本国内で202THを使用している場合でも、Thuraya Pacific OCと表示されることがあります。

仕様

202TH本体

項目	説明
質量(電池パック、iPhone 5クレードル装着時)	約227g
連続通話時間	約3時間
連続待受時間	約36時間
充電時間	約2.5時間
サイズ(W×H×D)(iPhone 5クレードル装着時)	約69×142×31mm
最大出力	2W

■ 電池パック

項目	説明
電圧	3.7V
使用電池	リチウムイオン電池
容量	2440mA
サイズ(H×W×D)	約58×43×9mm

■ トラベルチャージャー

項目	説明
入力	AC100V-240V 0.4A 50/60Hz
出力	DC5.0V 2.0A
充電温度範囲	0℃～40℃
サイズ(H×W×D) (変換コネクタ装着時)	本体:約72×38×59mm
ケーブルの長さ	約1.8m

◆ 使用材料

■ 202TH本体 (iPhone 5クレードル含む)

使用箇所	材質/表面処理
外装(裏面)	PC樹脂/UV塗装
外装(表面)	PC樹脂/UV塗装
電源ボタン	熱可塑性ポリウレタン+ABS樹脂
LED	アクリル樹脂
SOSボタン	PC樹脂
クレードル (iPhone 5)	PC樹脂/UV塗装
クレードルロック	PC樹脂
電池カバー	PC樹脂/UV塗装
iPhone 5接続端子	アルミニウム
クレードル接続端子	真鍮/金メッキ
外部接続端子	ステンレス
iPhone 5充電スイッチ	PC樹脂
ねじ	SWCH 18A/垂鉛メッキ
キャップ(ねじ部)	シリコーンゴム
キャップ(RFアンテナ接続部)	シリコーンゴム
アンテナ	ポリプロピレン

■ 電池パック

使用箇所	材質／表面処理
外装	PC樹脂

■ トラベルチャージャー(変換コネクタ含む)

使用箇所	材質／表面処理
外装	PC樹脂
プラグ	銅／ニッケルメッキ
ケーブル	ポリ塩化ビニル
アダプタ	銅／ニッケルメッキ

◆ 携帯電話機の比吸収率^{※1}(SAR)について

この機種202THの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この技術基準^{※1}は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)について、これが2 W/kg^{※2}の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。

この携帯電話機202THの、SARは1.870 W/kgです。この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。

側頭部以外の位置でご使用になる場合

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリアングケース等のアクセサリをご使用になるなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにすることで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインに適合します(※3)。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記のホームページをご参照ください。

- 総務省のホームページ
<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>
- 一般社団法人電波産業会のホームページ
<http://www.arib-emf.org/index02.html>

- ※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。
- ※2 平成9年に(旧)郵政省電気通信技術審議会により答申された「電波防護指針」に規定されています。
- ※3 携帯電話機本体を側頭部以外でご利用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格(IEC62209-2)が制定されました。国の技術基準については、平成23年10月に情報通信審議会より答申されています。電波ばく露の影響に関する情報として、米国連邦通信委員会(FCC)の基準および欧州における情報を掲載しています。詳細は「米国連邦通信委員会(FCC)の電波ばく露の影響に関する情報」をご参照ください。

「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」

この携帯電話機202THは無線送受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)という単位を用いて測定します。携帯機器におけるSARの許容値は2 W/kgで、身体に装着した場合のSARの最高値は1.870 W/kgです。SAR測定の際には、送信電力を最大にして測定するため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。これは、携帯電話機は、通信に必要な最低限の送信電力で基地局との通信を行うように設計されているためです。世界保健機関は、携帯機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

世界保健機関(英文のみ)

<http://www.who.int/emf>

ソフトバンク衛星携帯電話の電波比吸収率(SAR)一覧はこちら
<http://mb.softbank.jp/mb/support/sar/>

❖ RF Exposure Information/Specific Absorption Rate* (SAR) Information

This mobile phone 202TH meets the MIC's**** technical regulation for exposure to radio waves.

The technical regulation* established permitted levels of radio frequency energy, based on standards developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The regulation employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

The SAR limit is 2 watts/kilogram (W/kg)** averaged over ten grams of tissue.

The limit includes a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The value of the limit is equal to the international guidelines recommended by ICNIRP*****.

The highest SAR value for this mobile phone is 1.870 W/kg when tested for use at the ear.

While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, all phones meet MIC's technical regulation.

Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR of the phone during operation can be well below the maximum value.

Use at positions other than at the ear

This mobile phone may be used at positions other than at the ear. By using an accessory such as a belt clip holster that maintains a 1.5 cm separation with no metal (parts) between the body and the mobile phone, this mobile phone will comply with international guidelines for radio wave protection (***).

The World Health Organization has announced that "A large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use."

For more information about SAR, see the following websites:

- Ministry of Internal Affairs and Communications (MIC)
<http://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/body/index.htm>
- Association of Radio Industries and Businesses (ARIB)
<http://www.arib-emf.org/index02.html> (Japanese)

* The technical regulation is provided in Article 14-2 of the Ministry Ordinance Regulating Radio Equipment.

** Provided for in "Radio-radiation protection guidelines," reported in 1997 by the Telecommunications Technology Council, Ministry of Posts and Telecommunications.

*** A method of measuring SAR when a mobile phone is used at positions other than at the ear was established in March 2010 through an international standard (IEC62209-2). MIC technical regulation was reported in October 2011 by the Information and Communications Council.

**** Ministry of Internal Affairs and Communications
***** International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection Standards of the Federal Communications Commission (FCC) of the U.S. Government and information from the E.U. are given as information relating to RF exposure. For details, see "FCC RF Exposure Information" and "European RF Exposure Information."

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2.0W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear was 1.870 W/kg*. As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body as described in this User Guide**. In this case, the highest tested SAR value is 1.870 W/kg***. As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head and body.

*The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

** Please see Electromagnetic Safety on page 47 for important notes regarding body worn operation.

*** A method of measuring SAR when a mobile phone is used at positions other than at the ear was established in March 2010 through an international standard (IEC62209-2). MIC technical regulation was reported in October 2011 by the Information and Communications Council.

World Health Organization

<http://www.who.int/emf>

List of Specific Absorption Rates (SAR) for radio waves by Satellite-based mobile phone model

<http://mb.softbank.jp/mb/support/sar/> (Japanese)

RoHS

本製品は、EU RoHS指令に準拠しており、無鉛ハンダのペーストや部品を使用して製造されています。

CE 0983



Asia Pacific Satellite communications Inc (APSI) は、202THが、指令 1999/5/ECおよびEU RoHS 諸指令の不可欠な要件および他の関連規定に準拠していることを宣言します。クロスアウト・ホイールドビンマークは、製品が製品寿命を迎えたときに、欧州連合 (EU) 内では分別収集される必要があることを意味します。該当製品を地方自治体の一般廃棄物として捨てないでください。

Thuraya Telecommunications Companyは、商標「THURAYA」の単独かつ排他的な所有者です。

Copyright © 2013 Thuraya Telecommunications Company. All rights reserved.

iPhoneの商標はアイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。

iPhone、iPad、Multi-TouchはApple inc. の登録商標です。TM and © 2011 Apple Inc. All rights reserved.

AppleはApple Inc. の商標です。

本書の内容は将来、予告無しに変更することがございます。

Printed in Korea.

◆ お問い合わせ先

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

ソフトバンクモバイル国際コールセンター

お問い合わせおよび盗難・紛失のご連絡

<国内から>

一般電話・携帯電話から ☎ 0088-24-0018 (無料)

<海外から>

一般電話・携帯電話から +81-3-5351-3491 (有料)

※ ソフトバンク携帯電話からは無料

ソフトバンク衛星電話から +81-3-5351-3491 (無料)

故障受付窓口について

ソフトバンク衛星電話の故障受付窓口は日本国内のみとなり、海外にはございません。

ソフトバンク衛星電話を海外でご利用の際、故障した場合には、故障品を日本国内にお戻しになり、日本国内のソフトバンクショップまたはオンライン修理受付にて修理申込みいただきますようお願い申し上げます。なお、弊社オンライン修理受付は、国外への発送には対応しておりません。

発売元 ソフトバンクモバイル株式会社
製造元 Asia Pacific Satellite communications Inc.
輸入元 Thuraya Telecommunications Japan 株式会社

2013年6月 第1版

SoftBank 202TH 取扱説明書



モバイルリサイクルネットワーク
携帯電話・PHSの回収・リサイクルに協力中。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる
電話機・電池・充電器をブランド・メーカーを問わず左記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

※回収した電話機・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。

※プライバシー保護の為、電話機に記憶されているお客様の情報（アドレス帳・通信履歴・メール等）は事前に消去願います。